

園長コーナー

2012年 辰年 あけましておめでとうございます。

今年は天災や争い、そして何より子どもたちの悲しいニュースがなく、穏やかな一年になりますよう願います。

今年もかえで保育園の子どもたちが楽しい思いの多い日々が過ごせるよう職員一同、保育に精進していきます。どうぞ、宜しくお願い致します。

さて一月は年明けすぐにお餅つき大会を予定しています。

私の幼少期は、12月31日に親戚が集まり、祖父宅で近隣の人と一緒に盛大な餅つきをしていました。毎年いろんな種類のお餅を食べて、年納めをしていました。もち米を蒸すせいろの窯には、焼き芋が入っていて、寒い中手伝うと、ご褒美のお芋をいただきました。大人の人たちが忙しそうですが、声を掛け合い、にこにこで、笑い声の絶えない楽しい記憶として残っています。

先日、実家で出番を待っていた祖父との思い出の臼をもらってきました。

臼は少し小さいですが、私にとって思い出の臼で餅つきをしたいと思っています。午前中、お手伝いしていただける方はぜひ申し出ください。(お父さん大歓迎です!!)

今年も文化の伝承をできるだけ取り入れていきたいと計画しています。

まず、新年の給食は、おせちや、七草粥、保育ではお飾りを作ったり、お茶会(中川、西村先生が着物を着てお茶をたてます。)も体験します。

そして、昔のお正月は家族や友人と遊べる遊びがたくさんありました。こま回し、すごろく、凧揚げ、羽根つきなどもとりいれていきます。

そして忘れてはいけないのが1.17と3.11におこった震災です。

子どもたちは実際には体験していませんが、大人になっていくまでにどんな恐ろしい天災がくるかわかりません。備えあれば憂いなし・・・話や少し体験することで「自分の命は自分で守る」ことの大切さを繰り返し話していきたいと思っています。(子どもたちに頭巾を購入しました)

1.17日の給食は、炊き出しの経験としておにぎり、豚汁、みかんを給食におやつは乾パン、金平糖などの保存食を食べ、体験してもらいます。

新しい年も希望と楽しさがあふれる一年になりますように・・・

引地 美津代

「きいろいのはちょうちょ」 作・絵 五味 太郎

男の子が虫あみを持って黄色いちょうちょを追いかけて、捕まえますが...

「あれ?ちょうちょじゃない!!」

「次こそちょうちょだ!!」と思い捕まえると...

「やっぱりちょうちょじゃない。」そんな繰り返しのお話です。

子どもたちからも自然と「ちょうちょじゃない!!」「ちょうちょだよ!!」と言う声が聞かれる楽しい絵本です。ちょうちょじゃない。そんな繰り返しだと分かっているページをめくって何度も読みたくなってしまふ。そんな不思議な魅力を楽しみながら私も何度もこの絵本を読んでいます。

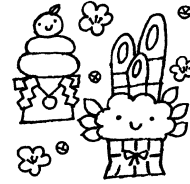
乳児も幼児も大人も楽しめる五味さんの絵本。ぜひ一緒に楽しんでください。



丹波 優衣



# おしらせ



## <1 月予定>

- 4日はお弁当日です。お茶は用意しますので、水筒は不要です。
- 12日はおもちつき大会があります。  
いぶき、ひかり、だいち組はエプロン（スモックも可）、三角巾をご用意ください。お手伝いできる方がいらっしゃいましたら、事務所まで声をかけてください。
- 16日はお茶会があります。中川、西村先生のおてまえでお茶席を体験します。
- 17日は10:00より、人形劇団「クラルテ」の方が来られ、楽しい人形劇をさせていただきます。  
また、震災体験として炊き出しの給食、保存食のおやつにします。
- 28日（土）は西宮民間保育園職員研修があります。職員全員参加しますので、17:00までの保育にご協力ください。

## <2 月予定>

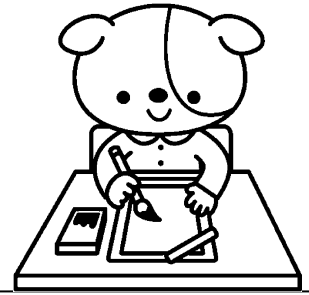
- 25日（土）9:30~12:00 園内にて発表会を行います。  
午後からはご家庭での保育となりますので、ご協力よろしく申し上げます。会の詳細は後日おたよりにてお知らせします。

## <おねがい>

- \*12月下旬にインフルエンザが流行しました。ご家庭で体調不良だった場合、無理をせず、からだを休めるようにしてください。感染性のものにかかった場合は、登園許可書を必ず持ってきてください。
- \*日差しが暖かい日は外遊びにでます。園用の薄手の上着をご用意ください。（ダウンジャケットは登降園のみ）
- \*洋服や靴下の記名が消えかかっているか、名前が小さすぎないか、再度ご確認ください。

# おはなしコーナー

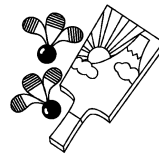
今月は  
河本 彩奈 先生



おせち料理、書初め、年賀状、お年玉、門松…お正月は、この時期にだけ楽しめるものがたくさんありますね。日本独特の文化でそれぞれに意味や由来があると思うのですが、毎年目になっているものの意外と詳しく知らないものが多かったので、お正月にちなんだものについて少し調べてみました。

そこで私になるほど！と思ったのが羽根つきにまつわるお話です。今では子どもたちが遊んでいる姿もあまり見られなくなった羽根つきですが、羽子板で羽根を空中へはね上げて遊びますね。その羽根にはムクロジという植物の実が使われていて、ムクロジは「無患子」(子どもが患わない)と書くため、子どもへの無病息災の願いが込められているそうです。遊びの中にも健やかに育てほしいという子どもへの思いが込められているなんて、素敵ですね。かえで保育園の子どもたちにもお正月の伝統的な遊びに触れて楽しんでほしいと思っています。また、ただ遊ぶだけでなく凧やかるた、すごろくなどを作ってみる、という楽しみ方も考えています。みかんの汁を絞って作る炙り絵もしたいと思っています。自分で作ることで、そのおもちゃについて知り、お正月の伝統文化をより感じてほしいと思います。おせち料理も入っているもの一つひとつの意味を知った上で頂くと、またいつもと一味違うかもしれません。

家族みんな揃ってお出かけされる方、おじいちゃんおばあちゃんのおうちへ行かれる方、おうちでいつものようにゆっくりと過ごされる方…いろいろなお正月の楽しみ方があると思いますが、かるたやこま回し、福笑いなど家族みんなで輪になって楽しむお正月もいいですね。



みなさんの幼いころのお正月には、どのような思い出がありますか？私はいつも祖母の家へ行き、大山大山でスキーやそりをしたり、庭に積もった雪でかまくらや雪だるまをせっせと作った覚えがあります。西宮は雪が積もることがほとんどないため、少しでも雪が降っているのを見ると、わくわくしてしまいます。かえで保育園の園庭には雪が積もるでしょうか…？

先日、園庭で遊んでいた子どもから「先生寒いよ～指が痛い！」という声がありました。そこで「手をこうやってこすってごらん。はぁ～ってするともっと温かくなるよ」と伝えながら私も一緒にやってみました。そこで鬼ごっこや追いかけっこの他にも体を温める方法はたくさんあることに改めて気付かされました。手袋やジャンパーを着こむことですぐに温かくなりますが、友だちと身を寄せ合いおしくらまんじゅうをしたり、手に息をかけ合うことでぽかぽかあたたかい気持ちも感じて欲しいです。

年が明けてからもまだ寒さは続きますが、寒さに負けない、元気な子どもたちの声でいっぱい園庭あそびにしていきたいです！



# りょうりのへやから



日に日に寒くなり、朝晩の寒さが厳しくなってきました。

急に冷えこむことで子どもたちの体調も変わりやすく、先月よりお休みする子どもたちが増え、心配していました。元気になって登園してきた子どもたちはお休み前と変わらず元気な笑顔を見せてくれ、よく遊び、お昼ごはんもよく食べてくれていたのでほっと一安心しています。

12月はクリスマス会もあったので♪あわてんぼうのサンタクロース〜♪と歌う声が毎日厨房まで響いていました。クリスマス会当日も子どもたちは、楽しそうに歌い、理事長サンタさんにプレゼントをもらったり、楽しいパネルシアターなど盛りだくさんのプログラムで、一日と楽しいクリスマス会を過ごしました。厨房も子どもたちの喜ぶ顔を期待しながらクリスマスメニューに一日大忙しでしたが、子どもたちの「先生、ありがとう」という言葉にその疲れも吹っ飛びました。

今後いろいろな行事で思い出に残る行事食を提供していきながら、子どもたちにもっと喜んでもらえるように「おいしく栄養価の高いごはんづくり」に力を発揮し、頑張ってお作りしていきます！

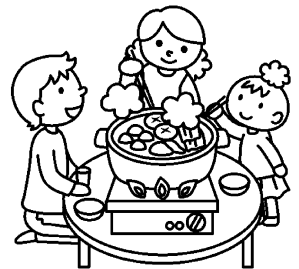
そんな12月が終わり、年が明け2012年。1月はお正月の月です。

今回はおせちについての豆知識を少しご紹介します。

みなさんはおせちの中のそれぞれの料理の意味を知っていますか？

くりきんとん、田作り、黒豆、数の子、昆布巻き・・・

いろいろありますが、それぞれこんな願いが込められているのです！



\*くりきんとん：黄金色の小判をイメージした栗きんとんは、財産がたまるようにという願いがかけられています

\*田作り：江戸時代に高級肥料として片口いわしが使われたことから豊年豊作を祈願します。

\*黒豆：黒豆には、まめに暮らせるようにという願いがこめられています

\*数の子：数の子にはしんの卵で一度にたくさんの卵があるということから、子孫繁栄を願います。

\*昆布巻き：昆布は「喜ぶ」、巻は「結び」を意味しています。

昔の人は、それぞれに今年の繁栄を願ういろんな意味を込めていたんですね！

日本の伝統料理をお正月に合わせて家族でお話ししながら、味わってみてください。

児嶋 亜季



めばえ

# 子どもたちの様子

突然吹いてくる冷たい風にギュッと目をつぶることが増えためばえ組さん。お友達との関わりも増えてきて、先生だけでなくお友達同士で「どうぞ」「ちょうだい」「ありがとう」などの言葉を交わすようになってきました。その姿を見ていると本当に微笑ましく思います。

園庭で遊んでいると園の前を歩いていく自動車やお散歩中のわんちゃんに手を振っています。キーン・・・という音がどこからか聞こえてくるとハッと空を見上げて飛行機の姿を探します。飛行機を見つけると「あっ！」と元気に指さして教えてくれます。そして「バイバーイ」と手を振って、飛行機が見えなくなるまでじっと見つめています。耳を澄まして周りの音を聞いたり、外の様子を観察したりするのも園庭での楽しみになっているようです。

1月からは少しずつ自分のことは自分でできるようにしていこうと思っています。12月からは食事の際に、エプロンを自分で机まで持って行くようにしています。また、お洋服を先生と一緒に着るだけでなく、自分で服を着られたという喜びも感じてもらえるように声を掛けながら、それぞれのペースに合わせて少しずつチャレンジしていきたいと思っています。



西村 友貴



ふたば

厳しい寒さが本格的にやってきたのと同時に、発熱したり、インフルエンザにかかってしまった子どもたち。年末年始はゆっくりと過ごすことができたでしょうか。ふたば組で過ごすのもあと3ヶ月ですが、どうぞよろしくをお願いします。

成長するにつれて、机上遊びをすることが難しかった子どもたちも、少しずつ手先を使ってのあそびを楽しめるようになってきました。イスに座って、大きな穴のひも通しをひもが見えなくなるまで通すことに集中していたり、洗濯ばさみを上へ上へとつなげて3階段にしていたり。クリスマスには、さらに小さな穴のあいているひも通しを理事長サンタさんからプレゼントしてもらい、いろいろな形や色、大きさに触れながら楽しんでいます。

それがまだ難しい子どもたちとは、ビニールテープはがしを楽しんでいます。小さな爪でカリカリとはがしては、もう一度貼り、またカリカリ……。また剥がしたものの上にどんどん貼り重ねていき、カラフルな小さな板のようなものができあがることもありました。シール貼りも人気があり、ビニールテープはがしとはまた違い、一見簡単そうですが、子どもたちにとってはたくさんの作業があります。「どこに貼ろうかな～」と考えている姿が見えたり、「これ（と同じシールが）欲しい！」と保育者に伝え、同じ模様のシールを並べてみたりできるようになりました。

今月もまだまだ厳しい寒さが続く中、室内で過ごすことが多くなるので、サーキットで体を動かしながら、少人数で集中できる遊びも取り入れていきたいと思っています。

また、生活面では、排泄が「でた」「でてない」としっかりと伝えられる子どもも増え、今月も見守りながら、自立に向けて援助していきたいと思っています。

中山 英子

## つぼみ



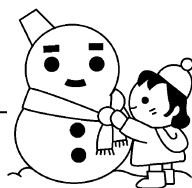
年末年始はどのように過ごされましたか？お話が沢山出来るようになった子ども達からどんなお休みだったのか聞いてみるのが楽しみです。

さて、12月のクリスマス行事でのリース作りでは、絵の具を使う時には、「赤つかう！」「つぎ、青にする！」「きいろにする」「さんかくがいい」「ここにはるねん。」「ほら、こんなんできた」など・・・全員のリースを合わせてツリーにした時には、「ほら、あれがぼくの！」「あれが〇〇ちゃんの！」の声。作ることで満足していた姿から、自分のしたいことをイメージし、作り上げていく楽しさや出来上りを喜べるようになりました。また、「あわてんぼうのサンタクロース」と「赤鼻のトナカイ」の素話をしました。目をじっと見て、食い入るように聞き、「なんで、タンバリン鳴らして消えたん？」「なんでトナカイさん泣いてたの？」「トナカイさん鼻赤いの？」と疑問も飛び出しました。こうしていろんなことにイメージが出来るようになり、うれしいです

1月は、お正月遊びを通して、凧作りやコマ回しなど昔ながらの遊びに触れ、様々な経験を増やしていきたいと思います。また幼児さんになるという楽しみが持てるように、遊びでは、幼児組の玩具で遊んだり、一緒にリトミックをしたり、生活面では、トレーで食事を運んだり、服をたたむことも挑戦していきます。

これを機におうちでもいろんなお手伝いをしてくれるとうれしいですね。

錦織 香奈恵



## いぶき・ひかり・だいち

本年度も後3カ月になりました。11月から始まった保育参加も12月で終了し、保護者の皆様にはお忙しい中、参加していただきありがとうございました。子どもたちは「あと2かいねたらきてくれるねん」と自分の日を楽しみにしており、その日が来た時は、自分が過ごしている保育園を案内する姿があったり、自分のできる場所を見せてあげたり、保護者の方との関わりを私たちも見ることができ、とても充実した期間でした。来年度もぜひ参加していただき、また1つ成長した姿を見ていただきたいと思います。

12月はクリスマスがあったので、コーナーの1つとして11月に散歩で拾ってきたどんぐりなどを使ってオーナメントを作ったり、リトミックをしたりしてきました。リトミックは、自分が感じたことを自由に表現するもので、心のイメージを体で表現することで心身の調和を作り出します。初めは恥ずかしがる姿もありましたが、今は堂々と表現しており、スキップやケンケンパー、動物表現など決められた動きをリズムに合わせて遊んでいます。ピアノの高低をよく聞き動いている姿があり、音を聞く集中力がついてきたので、次は決められた動きではなく、リトミック本来の自由に表現することを楽しめるように進めていきたいと思っています。



中川 奈津子